

会議録

会議の名称	令和３年度 第１回上下水道事業審議会
開催日時	令和３年１１月１日(月) １４：００～１６：００
開催場所	長門市役所本庁４階 会議室
出席委員	林了夫委員 小野妙子委員 池永和昭委員 伊藤孝身委員 大村真由美委員 岡村理恵委員 末永裕治委員 中嶋昌雄委員 西村正委員 山近弘恵委員 横山具寛委員
欠席委員	なし
事務局職員	田村敬助上下水道局長 吉岡雄二管理課長 藤井敏弘管理課長補佐 大田偉次管理課主査 永松冴華事務吏員
会議内容	１ 議事 （１）長門市における適正な水道料金のあり方について（諮問） ２ その他
公開・非公開	① 公開 ２ 一部公開 ３ 非公開 (傍聴者１人)
その他	

会議内容 (詳細)	1 議事 (1)会議の公開等について ○事務局より、長門市情報公開事務取扱要領に基づき、今回の会議を公開するか非公開とするかを審議 →多数決により公開 (2)会議の成立について →11人全員出席により成立 (3)長門市における適正な水道料金のあり方について ○事務局より料金改定の方針、料金改定(案)、財政見通し等について説明 ○事務局より答申について説明 ○協議内容、質問事項 ・昨年度に頂いた資料では調整単価が20円であったが、今回10円という提案に変わった理由は？ →一段階目の調整単価を10円とすることで、使用量が少ない低所得者層といったところへの影響が少なくなり、10%程度の改定率での提案とした。 ・経営戦略等で改定率は一応20%程度ということで、皆さんが把握しておられると思うが、今回の提案が10%程度でいいのか？ →コロナ過の状況もあり20%程度の改定率であると低所得者層への影響も大きくなる。また4年ごとに検討していくということで、今回の改定率は10%程度が望ましい。 ・今回のこの答申については、この4年間で10%ということで、現状が維持できるぐらいの収支になっているということか？ →シミュレーションは一応10%上げた状況で経営的にはどうなるのかを提示。基本4年おきに検証させていただく方針であり、その後については4年後になってみないとある程度わからない。 ・今後は4年毎に料金が変わっていくのが本当にいいのか、もう少し長いスパンで料金改定をするという発想はないのか →4年毎は大事なことだと思う。特に人口減少は、この先急激に来るかもしれないことも考えなければいけない。最低4年ぐらいのスパンで考えて、人口や原資がどのようになるかが、何を見ても想像がちょっとできないので、やっぱり4年毎がいい。
----------------------	--

・市民の方は、広報等で、今後、水道料金が上がるについて知っておられると思われるが、料金が上がっても山口県 13 市の平均と比較して真ん中に位置するということを、市民の方に言えば、少しは納得していただけるのではないかと？

→市民に分かり易く理解してもらえということで、何回か広報誌にも掲載させていただいているが、今後の改定につきまして情報提供し、市民の理解が必要と考えている。

・県内の他市と本市の比較以外に、全国の同人口の市と比較はされたか？

→人口が同じでも、地形等による効率がどの程度一緒なのかで比較対象になるため全国平均ぐらいしか比較していない。

・油谷地区が今後、非常に建設改良費が増えている理由は？

→水道管の耐用年数は 40 年であり、油谷地区はちょうど 40 年前に、一斉に水道整備しているため、漏水とかも油谷は非常に多くて、老朽化が進んでいる状況。油谷の水道管は更新時期にきているため、事業費が増えている。

・長門市の現状で老朽化の実態が簡単にわかる資料はないか？

→次回審議会にて資料提出

・コロナの状態もあり、改定時期はいつがいいのか？

→最終的には今のコロナのこともあるので、改定時期について、付帯意見として付けるということもできますので、その辺を皆さんでご審議いただきたい。

・一般市民として、この水道事業がこれ以上負担を増やさないために、例えばこの水道料金が値上げしないということについて協力できることは何かあるか？

→例えば漏水について、皆さんの家庭でも漏水等があれば早めに発見していただくとか、市内の道路等で漏水している情報を提供していただければ早めに対応できるので、その辺のご協力をしていただけると助かる。